

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ブラック・ジャッカル	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.470	△RG 0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：BLACK JACKAL

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

MB $4in \frac{1}{2}$

比較対照ボール：JACKAL RISING

フレアーの幅 インチ

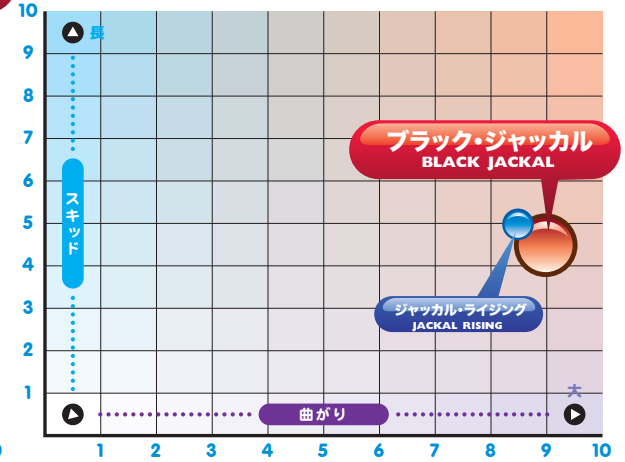
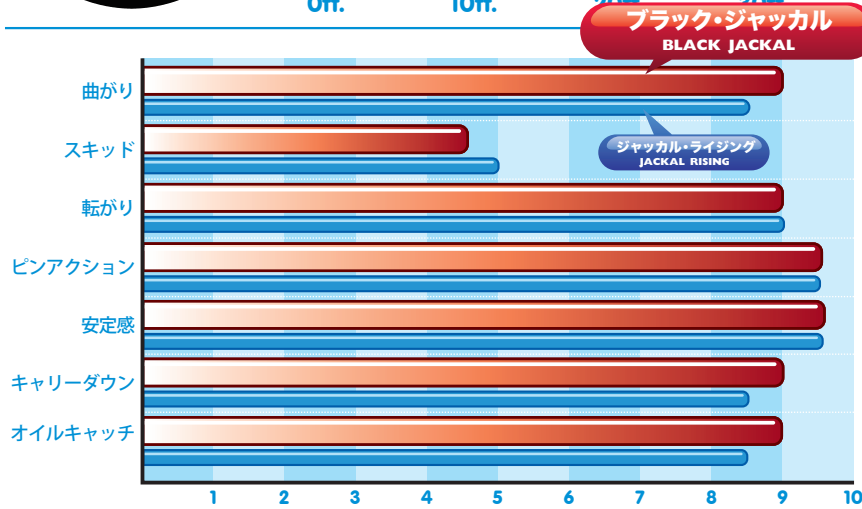
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

MB $4in \frac{1}{2}$



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

MOTIV社の中で2代巨頭と言われるREVOLTとJACKAL。ユーザーの中でレポートを組む場合、オイル用ボールの選択肢の中にJACKALと思いつける人は多分多いでしょう。

ジャッカルは通常MOTIV社では年に一回のループで発売されていますが、ABSの市場調査ではユーザーからJACKALを望む声が多く、やはりそれは普段からJACKALの使用頻度が高く、JACKALの消耗も激しいことが伺えます。その市場調査と要望に叶えるべくABSボール開発チームは以前からJACKALのOEM(INTERNATIONAL製品)の制作を続けていました。

今回発売するBLACK JACKALは、Coercion HFS Reactive、Predator V3コアのスペックはJACKAL GHOSTと同じですが、配色はBlack Solid、Box FinishはMOTIV社で一番摩擦が大きい2000Grit LSSで、2015年9月SAPPHIRE JACKAL以来の日本特別オーダーのJACKALの発売です。

聞いただけでも”是非投げたい”と思わせるスペックだと思えますが、JACKAL GHOST同様Midのキャッチとバックエンドの動き双方を持ち合わせる2段階の曲りがBLACK JACKALにも受け継がれているのが最大のセールスポイントだと思います。

歴代JACKALシリーズの中で一番オーダーを望む声が多かったのがJACKAL GHOSTであったのも最大の理由ですが、これだけのスペックでありながら男女問わず多くの方に愛されたJACKALはGHOSTが一番ではないかと思えます。その性能を今一度皆様に体験して頂こう願いと、要望に応えるのがBLACK JACKALです。当然のことながらこれだけのスペックは多くのユーザーが着目しますので、発売当初から流通の動きも早くなることは容易に想像が付きまします。できれば早めにショップにオーダーして頂き、確保して頂けると助かります。

特記事項

盤石の高スペック、JACKAL GHOSTと同スペックで、MOTIV社最高Box Finish2000Grit LSS仕上げ。皆様の想像の範囲内でも”間違いのない性能”と確信でき、その期待を裏切らない性能です。